社会資本総合整備計画　　事後評価書

計画の名称	三重県における港湾の機能向上(使いやすく安全安心な港湾づくり)(防災・安全)		
計画の期間	平成２７年度　～　平成３１年度　(5年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	三重県		
計画の目標	港湾施設の改良等を行い、物流拠点としての利便性及び安全性の向上を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,772	A	1,772	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	1.施設改良の整備率を0%(平成27年度当初)から100%(平成31年度末)へ向上させる。			
	1.施設改良の整備率 (施設整備率)=(施設整備数)/(施設整備必要数)	0%	25%	100%
2	2.災害時の緊急輸送ルートを確保(平成27年度0%→平成30年度100%)し、災害対応能力を高める。			
	2.施設改良の整備率【災害時の緊急輸送ルートを確保】 (施設整備率)=(施設整備数)/(施設整備必要数)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000345785

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	三重県	直接	-	地方	改良	護岸の改良 1-A1-1	護岸工L=162m	宇治山田港　大湊地区①	■	■				99		策定済
		H26以前1-A-5																	
	A02-002	港湾	一般	三重県	直接	-	地方	改良	桟橋の改良 1-A1-2	浮桟橋1基	的矢港　国府地区					■	237		策定済
		H26以前1-A-6																	
	A02-003	港湾	一般	三重県	直接	-	地方	改良	橋梁の改良 1-A1-3	耐震補強L=0.4km	長島港　中ノ島地区	■	■	■	■	■	875		策定済
		H27以前1-A-7																	
	A02-004	港湾	一般	三重県	直接	-	地方	改良	護岸の改良 1-A1-4	護岸工L=610m	宇治山田港　大湊地区・今一色地区		■	■	■	■	291		策定済
	A02-005	港湾	一般	三重県	直接	-	重要	改良	物揚場の改良 1-A1-5	水深D=-2.0mL=90.0m	津松阪港　新堀地区	■	■	■	■	■	270		策定済
											小計						1,772		
											合計						1,772		

案件番号：　0000345785

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 三重県県土整備部港湾・海岸課において事後評価を実施。	事後評価の実施時期 交付期間終了後 公表の方法 ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	耐震対策、老朽化対策等の港湾整備事業を実施することにより、港湾施設の機能が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き、物流拠点としての利便性及び安全性の向上を図る。	

案件番号： 0000345785

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	施設整備率		
	最　終 目標値	100%	津松阪港及び宇治山田港において、係留施設・外郭施設の整備を進めていたが、予算の確保が困難であったため、計画の達成には至らなかった。
	最　終 実績値	25%	
2	緊急輸送ルート確保		
	最　終 目標値	100%	長島港において橋梁の耐震補強を進めていたが、予算の確保が困難であったため、計画の達成には至らなかった。
	最　終 実績値	0%	